

食料自給率向上に向けた研究紹介

農林総合技術センターでは、食料自給率向上に向けた技術開発を推進するため、プロジェクトチームを編成し、省力低コスト技術、高収量技術、新規品目導入に係る技術の開発と担い手の経営改善を併せて実施していく現地実証型の研究等を行っています。

『山口らしい法人経営の発展・安定化プロジェクト』

山口県では、農業の新たな担い手となる集落営農法人の育成と、これらの法人の生産力向上による、県内食料自給率の向上を目指しています。

こうした中、山口県農林総合技術センターでは、実際の法人経営を対象に新技術の複合的な実証研究を通じて、自給率向上の核となるモデル法人を育成する、社会実験方式※の「山口らしい法人経営の発展・安定化プロジェクト研究」を新たに開始しました。

本研究では、中山間地域と平坦地域の2法人を対象に、売上高の向上や、生産コストの低減など、具体的な経営改善目標を共有し、平成24年度の目標達成を目指して、対象法人と関係機関が一体となった取組みを進めることとしています。

※社会実験方式：新たな制度や技術などを導入する際、場所と期間を限定して試行することで、有効性等を検証すること。

社会実験方式による主な研究概要	
中山間地域	(農) 植柳ファーム(美祿市東厚保 経営6年目)
【テーマ】中山間地域の多様な資源と販売チャネルを活用した持続可能な営農システムの構築	
【主な内容】・地下灌排水施設(フォアス)の整備による経営の複合化(野菜作の導入)	
・地域の人と資源を活かした小さな経済活動の創出(地域資源の現金化)	
・多様な販売チャネルの構築(法人、関係機関・団体の連携による販売多角化)	
【主な目標】・売上高25%向上	
・売上高労働費比率30%以上(専従者所得確保) 等	
平坦地域	(農) グリーンファーム名田島(山口市名田島 経営4年目)
【テーマ】山口南部地域における地域連携型法人モデルの構築	
【主な内容】・地下灌排水施設(フォアス)の整備による水稲・畑作の輪作体系の確立	
・効率的な経営マネジメント手法の導入	
・法人間連携によるコストダウン	
【主な目標】・労働時間の10%削減	
・法人構成員還元額の20%向上 等	



(農) 植柳ファーム (19.6ha)



(農) グリーンファーム名田島 (31ha)

<主な内容>

◇食料自給率向上に向けた研究紹介

『山口らしい法人経営の発展・安定化プロジェクト』 ～経営技術研究室 他～

◇各部の取り組み

『農業技術部の食料自給率向上に向けた研究紹介』 ～農業技術部 園芸作物研究室～
『山口型放牧牛の産子が枝肉コンクールで全国トップに！』

～畜産技術部 放牧環境研究室～

『紅葉に親しむ月間を開催します』 ～林業技術部 緑化種苗課～

『就農目指して、頑張っている！！やまぐち就農支援塾生』

～農業研修部(農業大学校)～

◇トピック紹介・お知らせ

『鳥獣被害防護柵見本展示園を整備！』

～経営技術研究室～

『病害虫発生予察情報をメールでお知らせします』

～山口県病害虫防除所～

農業技術部の食料自給率向上に向けた研究紹介 ～ 夏秋トマト 最新技術で夢の20t採りへ ～

農業技術部では、(独)近畿中国四国農業研究センター及び愛媛県、徳島県、広島県と共同で、「中山間地域における所得拡大を目指した夏秋トマト20t採り 低コスト・省力・安定生産技術体系の確立」に取り組んでいます。

この研究では、本県中山間地域の主要園芸品目である夏秋トマトについて、夏期のハウス内高温を緩和する高軒高平張型ハウスや細霧冷房の他、日射対応型自動灌水装置など最新の技術を現地(萩市)に導入し、その効果を検証しています。栽培には、山口型高設栽培システム「らくラック」を活用し、低段密植栽培を年2作行うことで、慣行栽培法の約2倍にあたる収量20t/10a/年を目指しています。



現地(萩市)に設置した
高軒高平張型ハウス



低段密植栽培の様子

山口型放牧牛の産子が枝肉コンクールで全国トップに！ ～ 純山口県産牛での受賞です ～

畜産技術部では、耕作放棄地などでの山口型放牧実証のため、県内各地に繁殖雌牛をレンタカウとして貸し出しています。

その山口型放牧牛の産子の枝肉が、平成20年度第4回全日本牛枝肉コンクール(大阪府畜産会、大阪市、大阪市食肉市場協議会主催)でコンクールの最高賞である名誉賞を受賞しました。また、この産子は、父(北乃勝関)・祖父(東平福)・曾祖父(谷照長)とも山口県種雄牛であり、純県産和牛での受賞は初の快挙です。

産子の母牛は、今年度もレンタカウとして萩市の林業技術部むつみ林木育種園へ貸し出しており、林間の下草刈りを行っています。



出品牛の枝肉写真



今年度の放牧の様子(右が母牛)

紅葉に親しむ月間を開催します

～環境緑化園の紹介～

林業技術部では、山口市仁保中郷（KDDIの西隣）に環境緑化園を整備し、緑化樹の増殖、緑化技術の研修の場などに活用しています。

その中の「緑化木見本園」には、約200樹種（800品種）2万本におよぶ緑化樹が植えてあり、広く県民の皆様にご利用していただく施設として、平日の9時から17時の間、開園しています。

秋も深まり、紅葉が美しくなるこれからの季節を「紅葉に親しむ月間」（10月31日から11月30日まで）として休日も開園します。

これから、イロハモミジなどの紅葉やムラサキシキブなどの色鮮やかな実が見頃を迎えます。ぜひ、お誘い合わせの上、環境緑化園へお越しください。

～秋から冬にかけて、環境緑化園で楽しめる主な樹木～

紅葉：カエデ類、モミジバフウ、ドウダンツツジなど

実：ロウヤガキ、ピラカンサ、マユミなど

花：サザンカ・ツバキ類（冬～）



環境緑化園の遠景（春）



カエデ類の紅葉

就農目指して、頑張っている！！やまぐち就農支援塾生

農業研修部では、農業を職業としたい方や退職・離職等を機に就農を希望する方を対象に、「やまぐち就農支援塾」として農業体験型研修を実施しています。今年度は、基礎講座に69名、担い手養成講座に5名が受講しています。

塾生は将来の目標を実現するため、栽培・飼養管理技術の習得を行いながら、農地の取得、経営品目の決定、施設の整備等、経営のノウハウを学ぶなど、就農に向けて夢を膨らませています。



「基礎講座：野菜」の講義



「担い手養成講座：園芸」実習

【お問合せ先】

やまぐち就農支援塾事務局（県農林総合技術センター農業研修部内）

TEL (0835) 27-0015

詳しくはインターネットでこちらから

やまぐち就農支援塾

検索

試験研究のトピック紹介

『鳥獣被害防護柵展示見本園を整備！』 ～経営技術研究室（鳥獣被害研究グループ）の取り組み～

農林総合技術センターでは、鳥獣被害対策を支援するため「鳥獣被害防護柵展示見本園」を整備しました。

この見本園は、防護柵の選定・設置や維持管理方法を学ぶための常設研修施設で、野生獣類の特性に応じた防護柵として、サル防護柵5種類、イノシシ防護柵3種類、シカ防護柵4種類を展示しています。

また、100m当たりの資材単価と設置経費を整理した資料も準備しています。

なお、当見本園では随時研修を受け付けております。研修を希望される場合は、事前に農林総合技術センター鳥獣被害相談センターにお問い合わせください。

(TEL083-928-0131)



見本園



見本園を活用した研修

病虫害発生予察情報をメールでお知らせします ～ 農業の担い手を支援します ～

山口県病虫害防除所では、平成21年4月から主要病虫害の発生状況や防除に関する情報の電子メールサービスを開始しました。

メールアドレスを登録すると、予察情報等の最新の情報が発表と同時に携帯電話やパソコンに送信されます。この情報を利用することによって、病虫害の適確な防除を実施することができます。

なお、申込及び情報提供料は無料です。

①病虫害防除所に登録依頼のメールを送信



トビイロウンカの注意報をお知らせします。9月下旬以降に収穫するほ場では、9月9～14日には場を確認し、多発生が確認された場合は直ちに防除を実施してください。

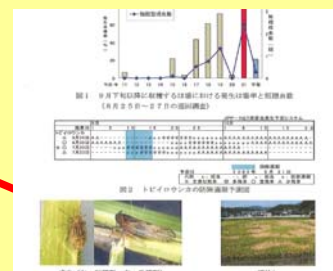
詳しく知りたい方はこちらで確認してください
http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a1720160/00000004/tyuihou-keihou.html



②メールが届く



③詳細はパソコンで確認



<山口県農林総合技術センター 企画情報室>

〒753-0214 山口市大内御堀1419 TEL(083)927-7011 FAX(083)927-4386

URL http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a172010/00000001/index.html

※ 皆さまからの御意見、御要望をお待ちしております。